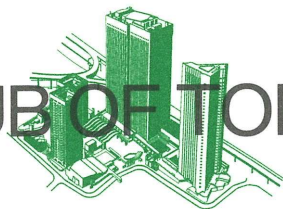




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー ー手に手、心から心へ輪を広げようー」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2003年11月7日 第815回例会

◎次年度(2004～2005年度)理事・役員候補者指名

◎卓話 「旧東海道五十三次ウォーキング

ー歩いて800,954歩」

当クラブ会員
(株)麻布青野総本舗・代表取締役

青野信次君

【前回報告】10月23日(木) 第814回例会

第2750地区鈴木正二ガバナー公式訪問

東京南・東京新南・東京麻布三クラブ合同例会

◎卓話 「公式訪問にちなんで」

第2750地区ガバナー 鈴木正二氏
(東京立川 RC)



私が着ているこのブレザーは、ガバナーエレクトの時代にかん詰めになって研修を受けたときの制服です。ロータリーのオフィシャルな会には、これを着用します。

扇形のバッジは大阪で開催される世界大会のシンボルマークです。これを持って行って、小さな箱に入れて各国のロータリアンに1つずつ差し上げました。そしたらインドのロータリアンが箱に手をつこんでまとめて持って行こうとした。行動が速い。日本のロータリアンはスローです。それに、資金協力はするが発言が少ない。今日も会長・幹事との話で、世のため、人のためになることをしてるのに、社会的な認知度が低いという話ができました。10年ほど前に、地方のクラブへ話をしに出かけたことがあります。駅で降りて、交番でロータリーはどこかと聞いたら、100米程行くと十字路がある、そこです、と言われた。交番がその程度です。もっと宣伝しなければならない。黙ってては駄目で、言うことを言って実行する。有限実行です。

11月29日から東京都写真美術館でサルガド写真展が開かれます。世界の貧困を撮った写真展で、朝日新聞社、東京都写真美術館と一緒に、ロータリー財団ポリオ撲滅キャンペーン日本委員会が共同主催します。案内が届いていると思いますが、ロータリーに対して腰が引けていた朝日新聞が、今回は共催します。是非見に行ってください。入場券は1枚1,000円です。ポリオ撲滅もロータリーの宣伝になりますから、これも協力をお願いします。今年の会長は、ナイジェリアの弁護士、マジアベさんです。1週間前に大阪の世界大会の段取りを見に来ました。世界大会にはぜひ参加してください。次に日本で開催するのは、私が生きている間はないでしょう。世界大会は、世界中の様々なロータリアンが一堂に会して、民族衣装を着て、セレモニーをします。海外の大会に日本から参加しようとする、一人50万円はかかる。大阪です

から、少しの費用で済みます。

今年度のRIのテーマは「Lend a Hand ー手を貸そう」です。まず、天職に手を貸そう。キリスト教では職業は神から与えられた天の啓示です。私は、東京駅で降りて東京会館に来ました。朝起きて準備をする。髭を剃り着替える。靴をはいて出る。JRの電車に乗る。これはすべて職業を行う人の手で準備されています。1つの製品を完成させるには、部品を作る様々な人達がいて、それを組み立てる人がいます。世の中に有用なものを提供して、自分も誇りを持つ。すべてに公平、それが職業奉仕です。職業奉仕月間に有用な人に感謝状を贈る、模範的な会社を訪問する、そういう活動だけでなく、自分の職業を通じての奉仕が大切です。次に、クラブに手を貸そう。南クラブも、新南も、麻布も真面目な雰囲気を持っています。良く勉強して、立派な哲学を背負っている。クラブによっては、眠っているようなクラブ、例会が私語でざわつくようなクラブもある。クラブに溶け込めない人、指示待ちの人、指示しても動かない人もいます。クラブを活性化しなければならない。3つ目は、地域に手を貸そう。これは言わずもがなでしょう。最後は、世界に手を貸そう。今年の会長はナイジェリア出身ということもあって、貧困や病気で苦しんでいる人達、識字率の低い国々に心を痛めています。日本人は80歳を過ぎても元気ですが、世界には平均寿命40歳、生まれてすぐ死んでしまう子供が4分の1という国もある。集中豪雨で集落が根こそぎ持っていかれる。すっぽんぽんでうろろしている子供、泥んこでおむすびを作って食べてる子供がいる。「世界に目を向け、恵まれない人達に手を貸してください」とRI会長は、訴えています。

最後にもう1つお願いがあります。昨年度の青少年育成委員会で、行動しようと決めて、2750地区に徹底しなかったことがあります。小学校、中学校が荒廃している。授業時間中に机の上を飛びはねて鬼ごっこしている小学校。先生が1度、2度注意してもやめない。中学校で授業中に携帯電話がなる。クラスが荒れている。これを放っていたらどうなる。ロータリーは小学生向けのプログラムを持っていませんが、文部科学省が平成12年に、学校の評議員制度を作って社会が支援して欲しいと呼びかけた。それでロータリーが立ち上がりました。課外授業を応援する、職場に子供達や先生を呼んで、大人が真面目に汗を流して仕事をしているところを見せよう。子供は父親がなにをしているか知らない。帰りが遅い、休日はつきあいゴルフ、そういうことで子供の躰ができるか。学校の荒廃は、社会人にも責任があります。地区の運営については、色々ご意見をいただきました。こういう時代ですから、金のかからないロータリーということでやっています。



(まとめ 大日方 真)

市川ガバナー補佐公式訪問・第三回クラブ協議会

(前号、前々号の続き)

(テーマ) 「職業奉仕の実践—手に手、心から心へ」

6. 大連RCの「ロータリー宣言」について 田辺賢三会員

「ロータリー宣言」と云うようなものは、通常国際大会など大きな大会で行うもので、クラブが「ロータリー宣言」を行う事は極めて希である。大連RCがかかる宣言を行ったことはクラブのロータリーに対する深い信念と決意と積極性を賞賛、敬服に値する。

大連RCの創立は1928年(昭和3年)で、クラブ創立の中心的推進者は、当時外務省から転じて、満鉄理事に就任していた、松岡洋右であった。松岡は在米時代に日本に対する世界的不評が骨身に届いていたので、米国に本部のある国際ロータリーのクラブを日本人の手で満州に作り、米国の対日批判を少しでも和らげたいと願ったのであった。

大連RCの初代会長は松岡洋右、副会長は三井物産大連支店長の古沢丈作で、会員の中心は満鉄の幹部、錚錚たる企業経営者たちであった。古沢は優れたロータリアンで大連RCの掛け替え無き人材として衆望を担っていた。

当時、日本のRCは、ロータリーの綱領も、定款も細則も、すべて英語の原文をよく解らないまま使っていた。(邦訳が始まったのは戦後1950年代後半である。)

古沢丈作は1915年のロータリー国際大会で採択された「ロータリー職業倫理基準」(ROTARY CODE OF ETHICS)の英語の原文を暗誦している内に、日本語が頭に浮かび、日本版「職業倫理基準」が出来上がったという。

古沢起草の日本版「倫理基準」は、現英文11ヶ条のエッセンスを5ヶ条にまとめた簡潔で格式高い名文で、これを大連RCの「ロータリー宣言」としたのである。

1936年(昭和11年)、神戸で開催されたRI第70地区(日本の全RCで1地区であった。)年次大会で神戸RCの直木太郎会員が立ち、「大連RCの宣言を以って本地区大会の大会宣言とせよ」との動議を提出し、議論は沸騰した。ある者は「大連RCの宣言を以って国際ロータリーの綱領とせよ」と、現綱領の修正を主張した。大会出席者は皆、大連RCの宣言の方が優れていることを認めたが、さすがに現ロータリー綱領の修正までは要求できないとして、結局「大連RCのロータリー宣言を本大会宣言とする」ということで決着した。これは日本ロータリアンのロータリー思想に対する関心の深さと日本的咀嚼の好例といえよう。

しかし、国内、国際情勢ともに、ロータリーに利あらず、当局のRC弾圧は日増しに激しさを加え、遂に1940年日本内地のRC37クラブ及び鮮、満、台の11クラブは全て解散の已むなきに至った。

戦後1949年日本国内のRCは復興し、RIに復帰したが、大連RC等外地のクラブは永久に消滅した。大連RCの「ロータリー宣言」も、今やロータリー文庫の「日本ロータリー史」の中に、そしてその存在を知る人の胸に残るのみである。

そして曾て古沢丈作が暗誦に努めた原本のRIの「職業倫理基準」はどうなったか。それは1915年以来RI制定の職業倫理基準として、ロータリー細則第16条に掲げられていたが、この倫理基準の具体的表現に対しては、各地のロータ

リアンからしばしば疑問と批判が呈され、また世界各地のRCの意見も一致を見ないなどの理由により、1980年の規定審議会により細則第16条は遂に削除されるに至った。従って、職業奉仕の指針として「四つのテスト」はあるが、ロータリーとして、職業上の「CODE OF ETHICS」(倫理基準)と云うべき文言は何も無いのである。

7. 講評 市川伊三夫ガバナー補佐

昨今は不況の為に社会に対する企業の責任やモラルが崩れ、企業倫理、従業員の心掛けなど大変難しい時代であるが、今日は格調高い河原会員の意見、企業倫理に対する開発会員の意見など大変真剣なお話を伺い感銘を受けた。特に河原会員の発言の中に「適正な利潤・利益の追求」というのがあった。これは職業奉仕の理想であるが、どこまで「適正」なのかを判断するのは困難である。現実的には、蓄積した利益を人や社会に還元していくことが「職業奉仕」だと思うが、バブル崩壊後の経済再構築の中で利益の蓄積自体が難しくなっている。清水、青野、ジョン会員の話にも大変感銘を受けた。各自の職業に基づく経験を話され、まさに職業奉仕の原点を見るようで大変心強く思った。これからもお互い手を取り合って、次代に向かって歩んで行きましょう。

8. 終わりに 小杉眞史副会長

我々のクラブで自慢できることの一つはアンケートの回答率が大変良いということです。6、7割の皆さんから回答が戻ってきますので、集計結果に会員皆さんの多くの声

が反映されることになります。(了)
(出席者) 青野、早川、入沢、石井、石坂、岩上、ジョン、開発、河原、小杉(眞)、小杉(修)、村山、西澤(正)、西澤(民)、尾関、四分一、清水、新保、庄司、高須、武下、田辺、塚田、圓谷、渡部、渡邊、吉田(用)、吉岡(敬称略・29名)



10月23日 / 9件 43,000円

2003～2004年 累計 524,000円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

東京南RC(会長・栗原貞一、副会長・下村渥、幹事・中居盛久、SAA・森村潔、親睦委員長・大西紀男) / 東京麻布RC(会長・関征春、副会長・鈴木丈、幹事・清原元輔、SAA・辻穂高、親睦委員長・川久保新一) / 入沢頼二 / 吉田用親 / 武下朗 / 庄司泰典 / 西澤民夫 / 竹本孝三郎 / 塚田哲夫 / ガバナー公式訪問を祝して
(紙面の都合でコメントを纏め省略させていただきました)

◎出席報告

会員63名 / 出席36名・欠席27名(出席規定免除者6名)

10月臨時理事会議事録

日時 10月31日(金) 持ち回り

場所 セキュリティ / エコ・エコノミー研修会会場

出席者 西澤(正)、小杉(眞)、入沢、開発、土屋、圓谷、立林、吉田(用)、村山、吉岡

決議事項 1. 新会員候補者1名の入会を承認。

ロータリーレート11月1日より1ドル=¥110(現行¥116)に変更

【次週予告】11月14日 第816回例会
ブッフスタイル例会のため卓話はありあません。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉眞史 〔幹事〕村山公士 〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕西澤民夫
事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場 / 毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111